

プレゼンテーション (要旨)

- ・TISの安達です。よろしくお願いいたします。
急な電話会議開催にも関わらず、ご参加いただき、ありがとうございます。
- ・それでは、本日、当社が発表いたしました「特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ」の内容について、ご説明させていただきます。我々がお伝えしたい内容は概ね適時開示資料に記載しておりますので、それを補足する形で簡潔に申し上げます。
- ・まず、「データセンター移転関連費用の一部負担」について、ご説明します。
- ・今から3年前、当社はデータセンター事業の戦略を見直し、東阪地区におけるデータセンターを統合する方針を決定し、老朽化の進む旧型データセンターは将来的に閉鎖することとしました。この際、その内容やそれに伴う減損損失の計上等について、適時開示を行った上で皆様にご説明させていただいたことはご存知の方も多いかと存じます。
- ・その後、当社は旧型データセンターをご利用中のお客様に対して当社の新型データセンターへの移転提案等を順次行ってきたわけですが、東京地区の旧型データセンターについては、当社にとって最重要のお客様に利用いただいております、その利用規模が大きいことから、このお客様の移転が特に重要な要素でした。
- ・当社からもデータセンター移転に関するご提案等をさせていただき、お客様の方でも移転について真摯に検討いただいておりますが、この過程において、お客様のミッションクリティカルな基幹システム等を安全・安心に移すためには、巨額の費用を必要とすることが判明しました。
- ・こうした状況を受け、当社は、このお客様と共同で、お客様のデータセンター移転を完了させることが、旧型データセンターの当初予定通りの閉鎖を実現し、閉鎖時期の延長に伴う追加費用発生という当社の将来的な収益悪化の回避には不可欠であるとの判断から、お客様から要請のあったデータセンター移転関連費用の一部負担について応諾することにした次第です。
- ・当社が今回負担する費用は88億円であり、全額を当第2四半期の特別損失に計上いたします。金額規模が大きい点は否めません。しかしながら、本件に対応することによって、お客様の当社データセンターの利用継続をはじめとする既存取引の維持のみならず、さらなる関係強化による取引拡大が見込めること、さらには、このお客様との取引を通じて得られる様々な価値、例えば、業界における当社のプレゼンスやブランドの維持・向上、優秀な人材育成等による陣容強化、こうしたことを総合的に勘案した結果、当社の中長期的な企業価値に資するものであると判断した点について、ぜひご理解いただければと考えています。
- ・続いて、「投資有価証券の売却」について、ご説明いたします。
- ・投資有価証券売却益については、今申し上げたにデータセンター移転関連費用の一部負担による短期業績面への影響を考慮したこと、及び、資産効率性及び財務体質の向上を図る観点から、当社保有の投資有価証券を売却したものであり、これによる売却益100億円を当第2四半期に特別利益として計上します。
- ・最後に、本件を踏まえた「当期業績見通し」についてですが、当社の連結業績は、本件によって計上する特別損失及び特別利益の影響を勘案した上で、概ね期初公表の計画に沿って推移していると考えています。そのため、現時点では期初公表の通期連結業績予想を修正する必要はないと判断しています。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

以上